

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	キャリアアップセミナーD	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	テニスコース	開設期	通年
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	4単位	授業形態	演習		
教科書/教材	セミナー、資格ごとに配布				
担当教員情報					
担当教員	セミナー開催協会などの講師		実務経験の有無・職種	有・スポーツ関連業界	
学習目的					
認定ストレッチングトレーナー・パートナー、キネシオテーピング、コンプレフロス、認定コンディショニングインストラクターなどの短期集中講座を受講し、様々な資格の取得や特殊技術の取得を目的とします。 また資格や技術の習得をすることで就職やスポーツトレーナー、スポーツ指導者として、活動や活躍の幅を広げる事も目的の一つです。					
到達目標					
「仕事に就く」「健康に関わる」「指導する」ことを見据え、資格や特殊技術を取得することで個々のレベルアップを目標とします。 また、資格を取得することで就職、各種実習などの選択の幅を広げ、個人が活躍するためのキャリアアップにつながる事も目標です。					
授業概要	資格取得のための短期講座。 短期講座を受講、終了後にテスト受け合格をすると資格取得などが可能。 シラバス「キャリアアップセミナーA～D」に関連講座を記載しています。 合計60時間の講座内容修了がキャリアアップセミナーCとなります				
注意点	一回の欠席でも資格取得は不可能になります。 講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。 身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価します。		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 (口頭・実技)	%			
	平常点	%			
授業計画（1回～30回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	介護予防概論		高齢化社会における介護予防の重要性を理解する		
2回	介護予防評価学		包括的介護予防健診の理論と実際を理解する		
3回	介護予防評価学		包括的介護予防健診の理論と実際を理解する		
4回	介護予防統計学		データベース構築と個人情報管理を理解する		
5回	リスクマネジメント		リスク予防と対応について理解する		
6回	高齢者筋力向上トレーニング		高齢者の筋力トレーニングについて理解する		
7回	高齢者筋力向上トレーニング		高齢者の筋力トレーニングについて理解する		
8回	高齢者筋力向上トレーニング		高齢者の筋力トレーニングについて理解する		
9回	転倒予防		転倒予防の方法を理解する		
10回	失禁予防		失禁の理解をする		
11回	失禁予防		失禁の予防を理解する		
12回	栄養改善		栄養改善を理解する		
13回	口腔機能向上		口腔機能改善を理解する		
14回	認知症予防		認知症の理解をする		
15回	うつ・とじこもり		うつの理解と早期発見、予防プログラムを理解する		

回	授業内容	各回の到達目標
1 6 回	コンディショニング基礎理論	コンディショニングを理解する
1 7 回	コンディショニング基礎理論	コンディショニングを深く理解する
1 8 回	コンディショニングインストラクターとは	コンディショニングインストラクターの役割を理解する
1 9 回	GoodConditionとは	良いコンディショニングを理解する
2 0 回	リセットコンディショニング	リセットコンディショニングを理解する
2 1 回	アクティブコンディショニング	アクティブコンディショニングを理解する
2 2 回	コンディショニングの基礎手順	コンディショニングの基礎手順を理解する
2 3 回	コンディショニングの伝え方	コンディショニングの伝え方を理解する
2 4 回	コンディショニング基本プログラム	コンディショニング基本プログラムを理解する
2 5 回	コンディショニング基本プログラム	コンディショニング基本プログラムを深く理解する
2 6 回	コンディショニング基本プログラム	コンディショニング基本プログラムを指導できる
2 7 回	コアトレ	コアトレを理解できる
2 8 回	コアトレ	コアトレを深く理解できる
2 9 回	コアトレ	コアトレを指導できる
3 0 回	まとめ	総合的に理解し実践できる